

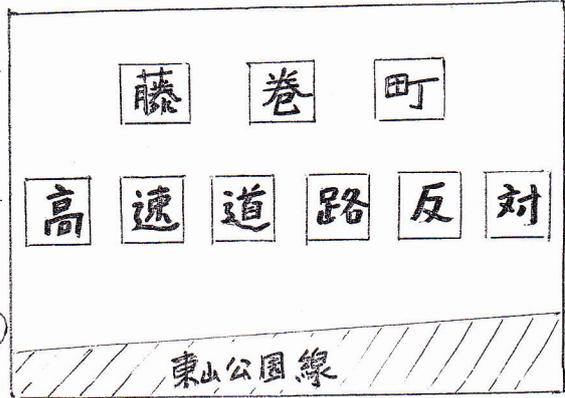
50.12.1

# 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

## 広報部 '反対'の看板立つ

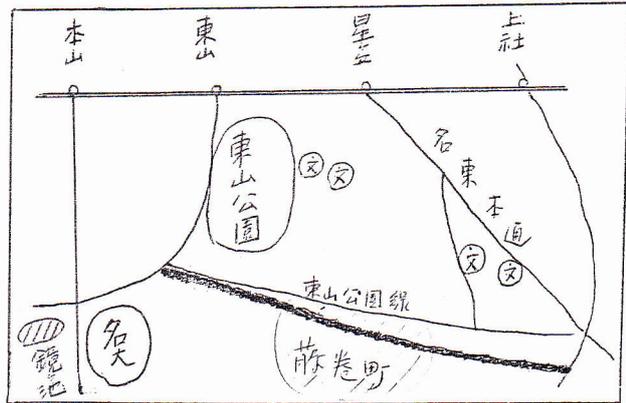
私たちの住民意志を広く世間に示す立て看板が11月24日、二丁目の岡田津弥さんの所有地に立ちました。右の図のような一字90センチ四方のもので、「藤巻町は白地に緑」「高速道路反対」は白地に赤のけい光塗料で書かれた美しい看板です。池田正之さん(交渉部部長・7組) 柘植昭さん(運動本部・6組)が材料提供、制作などに特別協力をされ、経費もごめいずがで出来上がったといいます。ここに感謝を込めてご紹介いたします。



## 運動本部 名古屋市当局と委員長ら会談

10月29日午後、早川委員長、林田・南川両副委員長、山田・西村両運動本部員の五人は、名古屋市計画局に山田計画部長をたずね「静かな環境を守り高速道路に反対する会」が藤巻町に結成された旨のあいさつをし、伊藤街路計画課長、松田係長にも同席してもらい、今回の「高速道路検討素案」作成の経緯を伺い、約二時間<sup>会談</sup>した。

ルートの変更に関しては、原案が地下鉄と重なり、地下工事が困難なこと、藤巻町を横切るようにしたのは比較的人家が少なくことなどの理由であると説明された。しかし、これによりルートが不自然に折れ曲がった形になるばかりか、市民の憩いの場である東山一帯の静かな環境を阻害することに対しては、ただ、できる限りの公害対策を打つというように抽象的な話だけで、なんら具体的な回答は得られなかった。



—— 高速道路。(上記は全くの略図です)

高速道路ができた場合の交通量に因りても、容量が一日八万台の街路であるから、五~六万台を予測しているという少なめの回答をしていた。(参考 = 東山通 四万七千台、要町八万台の由)

(次ページに続く)

藤巻町が野鳥の声で賑わう静かな環境であることについては十分認めたが、逆に、計画公園地であり、特別に許可された建築であるから除去もできるという発言があった。これに対しては、高速道路を通すということは全然別な問題であり、静かな環境を守るといふ趣旨とは全逆な方向なので絶対に承服できないと激しく反論した。

具体的な道路の位置はまだ確定していない由であったが、手続きとしては、市で原案を確定し（この際、市議会および市の都市計画審議会の承認を要する）県が決定料（県議会および県入都市計画審議会の承認を要する）ことになるという。

ただこれから市側としては、住民の了解を得ることが必要で、市側の決定に際しては、必ず住民との協議を行う旨、研究が行われた。

### 連絡部 道路公害反対全国住民交流集会に参加

11月2,3の両日、名古屋観光会館で道路公害に反対する全国の住民団体（地元名古屋の市民協議会ほか、東京、横浜、神奈川、大阪、長崎などの40余団体約80人）が初めて集まり、運動の実情報告や今後の進め方などを話し合った。

参加者は、高速道路の計画地区、工事中の地区、すでに直接被害を招き公害認定患者の出てくる地区などの代表で、同じ目的の1つ、真剣な討議が、はたむきな小集団気だった。

中津、目の前に下りてくる橋脚の下に中古車を置き、三年半の工事をストップさせている尾崎（5000人の公害認定患者あり）の森島さん（68歳）や、千音寺地区（最近報道された瀬江インターの問題は、この地区の反対が名古屋までの開通ができなかった）の代表の「私は子供の命を守ったために、また私を支援してくださった人たちのために、生命の続く限り戦っていく」という文字とあり体を張っての叫びは痛烈。また川崎環境保全審議会の学識経験者を動員して科学的に公害を追及している地道な運動、行政への不信から直接国に対し工事差し止め訴訟を起した記念バイパス反対連絡協議会の力強い姿勢、住民入居前に計画された1日10万台の車が通過する平面道路を掘削し、さらに12億円の予算を取つての上には77とし、子供たちの遊園地とさせたことには清瀬組の団地の成功など、それぞれ印象に残る事例だった。

次の集会は来春を以て、全国組織をかねて川崎市で開催することとし、当面、全国連絡センターを名古屋に置くことが確認された。

【集会アピール】憲法に保障された国民の権利を生かして住民を主体とした科学者、労組、政党とのつながりを深め、反対運動にとどまらず、新しい町づくりを進め、手をつないで前進しよう。

**高速道路反対!**

みんなで考え、話し合い、  
行動しましょう

藤巻町

【森田さん、三輪さん（いずれも連絡部）の語】この集会に参加し、3日は道路公害が問題と  
なっている南區要町を見たのですが、日曜日で車の約6割の交通量がというのに、マク  
の声も全然聞えず、10分ほど立っていただけで頭が痛くなり、帰宅後も気分がすぐれま  
せんた。藤巻町にも高速道路が通ったら大変なことになると思います。（次ページに続く）

## 研究部

### 大気汚染調査を実施

自動車の排気ガスに含まれる二酸化窒素( $NO_2$ )で大気がどのように汚染されているかを調査打試みが、高速道路反対名古屋市民協議会や各労組、民主団体によって行われた。

これは市役所/ホームビル四方を200ブロックに細目の目に区切り、そのほぼ中央で $NO_2$ を測定するもの。藤巻町はこのブロックには入っていないが、現在環境のよい藤巻町が、高速道路の完成によってどうなるかを知るためにも、この調査に参加した。

地上1.5メートルの高さに炭酸カルシウムと「ルカリウム紙」の入ったビンを送りまして24時間放置し、「ろ紙」に含まれた $NO_2$ を分析打のですが、藤巻町では、このビンと東山公園線の信号所から池の近くまで10カ所の地点を選んで設置した。名古屋工業試験所での分析結果は、改めてお知らせする予定。

注 二酸化窒素( $NO_2$ )とは

自動車の排気ガスは人体を害する汚染物質をいっぱい含んでいるが、なかでも一酸化窒素と二酸化窒素は最も恐ろしい。特に $NO_2$ は動物実験では100PPMで即死、人間は500PPMで48時間後に死すとされている。目まい、頭痛、気管支炎や咳などの障害を起す。環境基準は0.02PPMだが、名古屋や首都圏高速道路の現状7号線では基準の5~10倍の $NO_2$ が検出されている。

## 交渉部

交渉部も今後、いろいろ忙しくなり、上記のカットにふさわしいご報告を皆様方にご提出すべく、より協力したり、考えたりしております。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 調査部

### まず二項目の調査

11月15日夜の才回役員会で、①西山学区公民館関係者調査②藤巻町不在地主調査の二点を委員長から指示され準備に入った。県市公民館などに直接、関係のある方を知り、反対運動の効果的につなぐを得るため、不在地主の方々のご協力を得ることもぜひ必要との判断から、調査打わけ。

## 財務部

### 拠出金集まる

今年度の運動資金(一世帯2000円)拠出につきご協力願ったところ、135戸のうち126戸(95%分割拠出1戸)から251,000円が集まった。準備委員会当時の立替金165,400円と会費後の支出13,920円を差し引き、現在高は220,540円。拠出世帯率96%。

## お知らせ

### 私たちの声を広報に!

今後、住民の声、ご意見、PR資料なども掲載したいので皆様のご協力を。広報部へ。

部員名録修正  
 □研究部の伊藤善吉氏を伊藤朝治郎氏(7組・電話781-7974)に。  
 □交渉部に上野文子氏(8組・電話781-8066)を追加。(3)

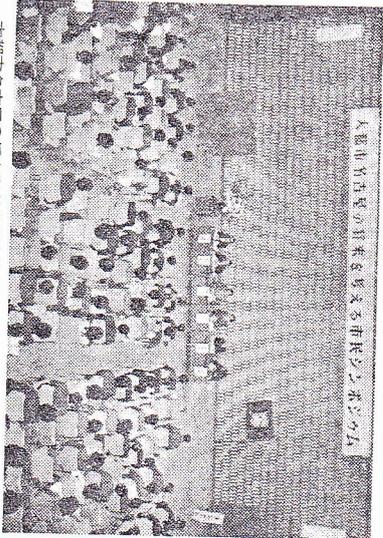


# クルス社会 活発な論議

# 「あすの都市像」熱く 市民シンポジウム

# 飛びかう疑問津文 参加 発言の場に生き生き

講演者、従入館の代表はたが、果のトヤ入館を要して、幾つは騒がせた。「名古屋をよめる」住み良、美し町にするには……」それらが意見をあけ、議論を喚起せられた。生々しく、また、希望と問題に対して、みなが熱心で話し合ひを繰り返し、ついに、空響を閉鎖した後の市民シンポジウムは、閉鎖の翌日、第一日、第一日、第一日……



大田市長の招きで来る市民シンポジウムの全体会場(5日午後2時、名古屋市中区栄町)

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

名古屋市長の招きで来る市民シンポジウム(同席)の代表はたが、果のトヤ入館を要して、幾つは騒がせた。「名古屋をよめる」住み良、美し町にするには……」

「最近の『東京、州が建築士(建築士)の会、州が建築士(建築士)の会……」

# 各地で起る道路公害 — 及対住民運動 —

東京の新聞より (S 50/10月~12月)

## 《 1 東関東自動車道路計画線変更へ 》

日本道路公園が東関東自動車道路計画、千葉県市川市から茨城県潮来までの高速道で、130km/4車線住宅地から幕張海岸一丁目自治会(446世帯)と千葉県幕張団地自治会(444世帯)が6月湾岸道路対策委員会でつくり、日本道路公園、建設省に計画変更を求め、い、ます。なお、要求が入られたい場合、工事差止めの新訴言に踏み切らず、対策委員会は、すでに問題発生をおこなっている一本の既存線について千葉県騒音と大気汚染の測定を依頼した結果

① 100m以内の60%の地点で、10人中、1人が耳が不眠や耳鳴りを訴える60m以上を記録、残りの地点も大半が環境基準を上まわった。

② 大気汚染では、ほとんどの時間帯で基準をはるかに上まわるオゾン濃度を記録した、

みんなが考え、話し合...  
行動かましよう

藤巻 町

ちよりの国道14号線の旧の交通量は約6万台、関東自動車道路は、17万台で、おそれ、

4月年度、関東自動車道路は習志野市の潮見浦と目自治会より運動12より、海岸審判に600m道路を変更していきつつかがある、今回の運動で変更できるはず、対策委員会運動側で15万、運動1000、い、ます。(10月17日)

## 《 2. 中央高速道路 三層料金所建設をわへる 》

住民と道路公園相方の意見

① 日本道路公園は10月14日①料金所の2層(料金収受施設)を160m、2層に半減する、②両側の空き地に約14000本の植樹をする、③4400mの中央道の両側に20mを移動、希望者から買い取り、約15000本の樹を植える計画、半減案を提出して、対し、住民側は受け入れられない旨回答、公園側はすでに移動希望者の買収交渉に入り7戸の間で合意に達した旨発表。(10月14日)

② 住民は料金所設置の反対に反対しており、エルク一方式による無公害化を主張し、公園側発表による7戸は、調布市側であり、中央高速道路対策協議会のメンバーではないとして、計画半減案をつ、1500本、(10月15日)

③ 道路公害から命と暮らしを守ろう、というスローガン下、住民側は大会を開いた、前記の協議会も、各団体に、より構成されて、それに連帯集金は、今年で2回目をむかえており、約300人が参加、(10月22日)

④ 日本高速道路公園は、高戸一調布間、77km、足かけ4年間のストロング問題、いつの間にか、通行保証、100万枚を配布し、年内解決できる場合は、道路公園史上初の警察権の導入を、考え、告示された、(10月22日)

(都)

(10月22日)

# 高・速・道・路・反・対

## 住民運動に明るい希望

大阪空港公害訴訟と環境アセスメント

最近、市民の反対運動を力づける明るいニュースが次々と伝えられています。

①は、去る11月27日に大阪高裁で判決が下された、大阪空港公害訴訟公害訴訟の住民側の全面勝利です。

国側は、住民の人権をいかにかき消す「生活環境の破壊を」「公共性」といふあいまいな名目のもとに住民に被害を強いてきました。大阪高裁判決は「公共性」といふ点も個人の生命身体精神および生活に侵害する理由にはならないと憲法25条および33条の「人格権」と全面的に認められています。この判決では原告側が「差し止めの根拠」とした「環境権」についての確証にまでは及んでいません。それどころか積極的な姿勢を示し、公害及対運動に力をつけている住民を勇気づけました。

②には、11月17日より25日世界31ヶ国 600人が参加し京都で開催された「国際環境保全科学会議」です。ここでは地球がよりよい環境であるための「環境権（人）自がよい環境で生活する権利」と法的に確立しようとす国際的は合意がなされ、環境破壊を事前に防止するための「環境ア

セスメント（事前評価制度）の重要性が確認されました。

③には、この「環境アセスメント」が名目だけで押された日本弁護士会、人権擁護大会、ツバツラムで大きく取り上げられ、公害訴訟が計画される時点で住民に対し事前の手続きをおこなった、た場合「住民側はその事業の実行を差し止める権利がある」とする大胆な法理論が提案され、議論されました。

その事前の手続きの三つの内容の概要は

① 公共事業計画のさいは環境変化、住民生活への影響を事前科学的に調査し、悪影響のある場合はその対策を明示する。

② 事業ははこの事前評価を住民に公開し住民による調査の機会を与えぬこと。

③ 「被害住民の同意」充分な環境調査を行ない被害に対する対策を尽くしてなお残る問題には補償措置により同意を得ること。

と伝わり、公共事業計画への住民の参加、公共事業といふ点も環境保全の義務を負い、個人の生命、財産を守らなければならないといふことです。

以上のニュースや前記の「大名匠の才来を考ふるツバツラム」の南権等々も高度成長、南権優位から環境保護、生活基盤回復へと時代が大きく変わっていくことを感じさせます。私達も希望をもち、これからの困難に向かい、さき進んでいきます。 (南川)

私たちの声を広報に!

51. 1. 1

# 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

## 運動本部

オ2回 総会予告 1月25日(日) 1時~4時  
西山処理場  
水野名大教授(環境衛生)の講演も予定

前号 都さんのレポートのつづき

《その3 太田己の自動車調査》

11月19日 己内の主要幹線道路(環状7号)(オ2京浜)(産業道路)の沿線住民を対象にして自動車公害の実態調査を発表した。

対象のうち80%が“公害あり”と答える。物的被害として草花、屋根、ガラスの汚れ、テレビ画面の乱れ、家屋のゆがみを訴え、20%が本人や家族に呼吸器系統の痛気を訴えた。40%が移転を希望している。(11月20日)

《その4 流己の騒音調査》

騒音の発生源は自動車60% ほとんど高速道路関係で防音壁や交通規制では限界があり“音のマスク効果”の判定が必要段階である。(11月16日)

《その5 東京住民運動連絡会が発足》

「太田己から公害をなくす会」など27団体がかつ呼びかけた“住みよい環境をつくる東京住民運動連絡会”の設立総会が5日規約を決め発足した。(11月6日)  
(都)

## 研究部

### 騒音について

許容騒音値

時間	昼間(8~20時)	朝夕(6~8時 20~22時)	夜間(22~6時)
音量(ホン)	55	50	40

静かな藤巻町は規程以下で山田民(藤巻町3~2)で午前10時半に測定した結果38ホン(10分間50回測定した平均値 飛行機が2台通過し頭上に来た瞬間は60ホンだけれどもサッと過ぎるので平均値の影響は少い) 悉し例外がある。東山道路をいの信貴山の下で民宅で朝8時前後測定した結果、驚くべし65ホン ラッシュの一番さわがしい時とはいえ殆ど通勤の乗用車ばかりでこの値である。

大型トラックがどんどん走る高速道路が引いたら我々のうける騒音被害はどんなで計り難く知るべきである。(山田)

## 交渉部

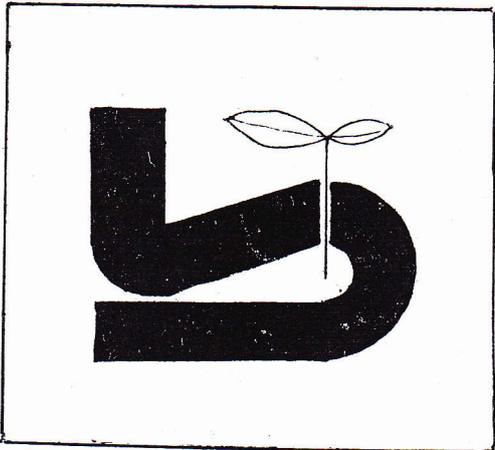
### 1月10日 部会予定

51年明けに積極的に内外系交渉してよりよい結果たらんことを期すべく努力する  
(池田)

# 連絡部

## 名古屋都市高速道路 反対連絡協議会 (代表 大川浩正氏)

11月総会 藤巻より白砂(連絡)渡辺(研究)柘植(本部)  
12月 " " 安部(連絡)柘植(本部)  
が出席。内容をお知らせします。  
名古屋全市 1kmに己切った窒素酸化物測定  
の結果、天候的(2日間測定のうち1日雨)や  
測定操作不手際のため全体的に他の組織  
で行ったより低い予想外の結果。新年度  
1月19日より **1週間連続測定** をすることになり  
薬品/本50円位 必要とのこと。又1月18日は



**公営地の現地調査**の予定された午前10時  
上社駅集合しマイクロバスで環状2号線と都市高速1号線の分岐点  
高針インター予定地を見て藤巻町より南下して大高インターから北上 要町を見学  
して堀田の橋脚までの予定  
「要町 松永・森 両氏の報告」

要町では現在 名古屋国道 沿線住民に対し当局より坪30万~35万という  
膨大な土地 買上げ価格を示し立ちのきをせまっているがこの地は  
個人個人では土地を処分することが出来ない株にしてあるから大丈夫  
ではあるが切りくずし工作にかかると大変だ。

又当局の係員が51年7月までに大高一松田橋間を完成 10月までは  
堀田まで開通させたいと意向をもらったので51年度はなにをさせておいても  
ヘルメット等で座り込みをすることになるだろう。

### 「堀田 藤氏の報告」

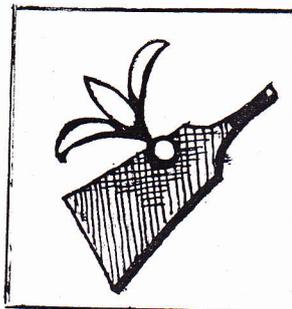
都市高速2号線の工事はいよいよ南区より一部 瑞穂区内に入ってきた。  
了解なしに工事が進行されるので大川先生ともう一度市へ取りやめの  
抗議に行かなくてはならないと思う。市当局も最近 高速道路反対運動を  
馬鹿にしてなめているようだ。なほ環状2号線山田-小幡間で高速道路予定地  
の両側に脇道らしい工事が始められている。市当局も先の大坂空港公営訴訟  
における住民側の全面勝利と「環境アセスメント」のような我々にとって明るい  
ニュースにもかかわらず史上最大の不況に対処すべく全国的に大々な公共投資に  
ふみきるものと思う。この様な状況のもと藤巻町全員スクラムをくみ他の反対運動と  
協力し情報を交換しあいもつと強力に反対運動を推進する必要がある(柘植)

# 調査部

静かな緑多い環境を全面的に消す高速道路に反対する株  
努力します。  
(次号につく 田島)

# 広報部

新年おめでとうございます。私欠つたない編集で  
お見苦しい所は多々あると思いますがどうぞ本年もよろしくお願ひ致します。



51.1.23

## 藤巻だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

### ◎総会へ家族ぐるみで!

1月25日後1.30

水野教授講演も

(下水処理場)

(名大)

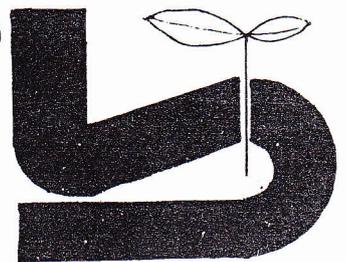
私たち藤巻町の「静かな環境を守り高速道路に反対する会」の総会は、1月25日(日)午後1時30分から西山下水処理場で開かれます。水野完名大教授(環境衛生専門家)の講演について、①早川委員長あいさつ②状況報告③50年度決算(案)上程④51年度運動計画提案⑤同予算案上程⑥会費審議など、今後の私たちの進み方と生活にかかわる大変重要な諸問題をみんなで考え話し合う集まりですので、ご家族をろって、ご出席ください。ひそかに、それでも一歩また一歩と進みつつある市の高速道路建設計画に対し、私たちも力を合わせて着実に真剣に取り組むではありませんか。

### [各部運動計画案] (詳しい説明は総会席上で)

- <運動本部> ①総合計画立案推進 ②情報収集 ③各部協力調整、④講演会・勉強会開催 ⑤各種交渉・交流他
- <交渉部> ①情報入手および連絡経路確立の体制づくり ②報道機関、世論の同調・関心を求める努力 ③以上をふまえ、(イ)市県両議会関係者と折衝 (ロ)市計局担当者と定期懇談 (ハ)高速道路公団担当者との勉強会 (ニ)区行政者との交渉 などに加え、(ア)市長、同助役、知事、副知事との折衝 (イ)県議会、市議会各議長らとの折衝 (ウ)名東区千種区実力者との接触 (エ)労評、市県高速道路公団各労組との接触 なども、A B 一段階に分けて実施したい他
- <広報部> ①読みやすくわかりやすい「藤巻だより」の最低月1回発行(声、情報、資料、絵も豊富に) ②町内各所に「反対標識」の設置他
- <連絡部> ①外部諸団体との接触、情報収集 他
- <調査部> ①状況把握と司法手続関係の整備で、請願・陳情の資料づくり ②部内の「調査班」は(イ)県市公団の進める高速道路建設計画状況調査 (ロ)藤巻町民、西山学区民からの情報提供を求めながら市県公団との情報ルートの確立 (ハ)請願・陳情の基礎資料となる報告書作成 ③部内の「司法班」は(ア)反対運動のための司法問題の基礎がため(イ)町内、学区での法律熱心者の調査および法廷闘争に備えての専門家リストアップ 他
- <研究部> ①騒音、排気ガス研究 ②調査および資料作り 他
- <財務部> ①会計事務 ②会費集金 ③決算報告 他 (決算・予算案は別紙)

総会についての  
お願い

- ◆ みなさん、ご出席を!
- ◆ 役員、委員は午後1時集合!
- ◆ 本広報「藤巻だより NO.4」ご持参を!



昭和50年度決算(案) (財務部)  
(収入の部)

款項目	金額	摘要
会費収入		
1 通常会費	253,000	2000x126戸
2 臨時会費	0	1000x1戸
雑収入	0	
繰越金	0	
収入合計	253,000	

(支出の部)

款項目	金額	摘要
調査研究費	(14,250)	
1 調査費	5,150	市民協賛会他
2 資料費	4,500	本部図書2冊
3 参加費	3,600	対連絡協賛会
4 印刷費	1,000	
広報費	(338,920)	
1 PR費	20,102	広報印刷
2 通信費	6,840	PR文書送達
3 広報器費	6,950	反対看板
交通費	(9,530)	
1 旅費	9,530	各都市内交通費
需要費	(17,110)	
1 事務消耗費	17,110	事務用品他
諸費	(11,850)	
1 会場費	5,080	集会場使用料他
2 雑費	6,770	その他諸費
支出合計	866,332	
次年度繰越金	166,368	

昭和51年度予算案 (財務部)

款項目	各 部 別 予 算 額							予 算 総 額	
	本部	交渉	連絡	広報	調査	研究	財務	項目計	合計
会費収入								762,000	762,000
雑収入								2,800	2,800
繰越金								166,368	166,368
収入合計									931,168
調査研究費					4,100	25,000		66,000	374,000
調査費					10,000	20,000		120,000	
研究費	3,000			4,000		25,000		95,000	
資料費			60,000					60,000	
参加費	3,600							36,000	
印刷費									
広報費		12,000		48,000				60,000	275,000
PR費	15,000		9,000					105,000	
通信費						50,000		50,000	
器費	60,000							60,000	
交通費									
旅費	35,000	36,000	2,000	12,000	10,000	20,000		133,000	133,000
需要費									
事務消耗費	30,000			1,000			10,000	50,000	50,000
諸費									
会場費	9,000							9,000	81,000
雑費	1,000	12,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	72,000	
予備費									
予備費	15,168							15,168	15,168
支出合計	240,168	60,000	180,000	170,000	161,000	100,000	20,000		931,168

このほど、西山学芸連絡協賛会主婦懇談会に仲谷委員等知事をおいて話し合い持会がありました。  
藤巻町に同席のありとるを書き封と

- [藤巻町代表] 自然破壊、住民破壊をしてまで高速道路を通したいお考えか。
- [知事] 市長の意志を尊重し、生かすようにしていきたい。市長が責任を持っているし、これに努力をしている。
- [藤巻] 豊田バイパスもできかけている。一度、「静かな環境を守り高速道路に反対する会」と話し合ったら?
- [知事] 本当にもう決まっているのでしょうか。本山市長もこれに市の財源を相当使っている大変だね。
- [藤巻] 住民不在の素案、11つの向に行われたら変更、市側の計画推進など、おかしく悲しい話だね。
- [知事] 私一人でできることではないが、市長、知事、建設関係の三者と藤巻町代表で話し合えるようにしたい。
- [藤巻] 素案が原案に立つてから住民に頭を下げてくるというふうなことはないように!  
(交渉部、編組)

51.2.1

# 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

## 第二回総会開催 昭和51年1月25日 水野宏 名大教授 講演「高速道路に伴う公害について」

早川委員長より水野教授の紹介があり、公害についてのお話が約1時間にわたってありました。私共には大変役立つ具体的なお話で、名古屋市内に高速道路は、人間の生命・健康を考えると必要ないと思われました。高速道路ができ、自動車による大気汚染・騒音・振動の公害が起るとしてはどうかどうにもならない。経済政策の計画によって都市計画をするのではなく、われわれの生命・健康を判断の基準にしなければなりません。生命・健康といつても単に肉体的・生理的の面だけでなく、知的(読書ができ、思考ができること)・情緒的(美しいと感じ、楽しく音楽が聴け、おろつい心に落ちること)・社会的(人と会話ができ、電話で話しかけること)・創造的(物を造りに覚え、集中力を保てる)機能が妨げられないか判断する。

高速道路公害 { 騒音公害 — 道路の構造により異なる。地下式の場合は解消する。  
大気汚染 — トンネル式にすれば問題が残る。

騒音が人間に与える影響については(人によってちがいがありますが)

- 40 ~ 45 ホーン 住民の25% が 情緒的に影響を受ける
- 45 ~ 50 ホーン " 日常生活に訴えをもち
- 50 ~ 55 ホーン " 生理的影響を受ける(頭痛がし、睡眠を妨げられる)
- 60 ホーン以上になると100%の人が 情緒的・知的にも日常生活に於影響を受ける。

道路公団のパフレットの騒音分布図にも道路と敷地の間では60~70ホーンで、400メートル離れた所で基準をオーバーしている。

大気汚染については、排気問題があり、窒素添加物、二酸化窒素の話があり、四日市ベンゾグの原因が亜硫酸ガスといわれていたがそれのみではない。亜硫酸ガスは浮遊煤塵について人体に入るが、排気中の二酸化窒素はそのまます人体に入る。そして呼吸器関係の病気にかかりやすくなり、慢性気管支炎(ベンゾグ)、インフルエンザの流行のもとになる。人によってちがいがありますが、子供と老人がいちばん影響を受ける。名古屋市の5つの測定地点で、現在でも毎日基準をこえている。

自治体が事前調査をし数値を出すべきで、名古屋の場合は愛知県がやっています。

以上のようなお話でした。

- ・〈来賓〉 県会議員 筒井氏、市会議員 本谷氏、渡辺氏(代理)、協議会 藤氏
- ・早川委員長 挨拶 スジを通じ 息長く闘おう。
- ・運動本部 鈴木氏 現状報告 素案が原案にすりかかっている。

次ページに続く

各部長報告

交渉部 池田氏

広報部 磯部氏

調査部 宮下氏

研究部 渡辺氏

連絡部 石植氏

2月市議会前に反対折衝

「藤巻」刊の発行、反対看板の設置増

資料つくりをすめるべく情報提供のお願い

騒音・大気汚染測定、基礎資料の作製

1月18日、公害調査団とともに写真・地図にて説明、3月に公害反対地区の見学会をむす予定

財務部 加藤氏より収支決算報告、田島氏より監査報告

昭和51年度予算案の承認、会費を1ヵ月500円、2ヵ月分1000円ずつ奇数月の1日~5日に徴集

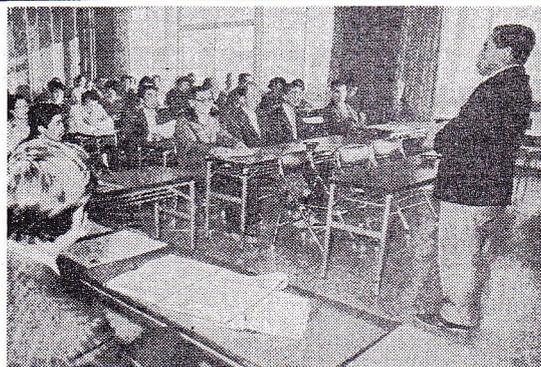
(ただし1・2月分は2月に、3・4月分は3月に集めます)

早川委員長より提案の名古屋市高速道路反対連絡協議会に加盟 賛成(加盟費 月2,000円)

その他

以上 総会の報告

中日新聞(二月二十六日)



「静かな生活環境を守ろう」と総会で新鏡ヶ池線高速道路の反対運動を確認する地元民一名東区高針で

「静かな生活環境を守ろう」と総会で新鏡ヶ池線高速道路の反対運動を確認する地元民一名東区高針で  
一方、「名古屋に高速道路などにも必要なのではないか」「藤巻町に高速道路が求なければ、それではいかに」「過激なことをしないのはよいが、穏やかすぎていけないのではないか」といった運動の基本にかかわる討論もあった。役員によると「基礎はほぼ、固まった。本腰を入れ、具体的活動を始めるといふ。総会に先立ち、大野宏を大教授

名古屋都市高速道路の新鏡ヶ池線建設に反対する名古屋区藤巻町の市議を定める市議会に「静かな環境を守り高速道路に反対する会」(早川文夫会長、百三十三世帯)は千五百午後、二度目の総会を開き、「ク」を通し、

# スジを通して闘う

## 新鏡ヶ池線 住民が総会で確認に反対の会

(環境衛生)が「高速道路の公害」として騒音「道路が保

にトネル式になっても、大気汚染の問題は残る。県市は事前調査を十分、すべきた」と他都市の例を引き、示唆した。  
鏡ヶ池線は、当初、東山動物園の北側を通るルートが計画されていたが、その後、南側の藤巻町を通るルートに変更された。市が原案を作成、二月の市議会(了)を経ての認可になっている。

### 財務部よりのお願!!

去る1月25日開催の第2回総会において昭和51年度予算が承認されました。通常会費を下記要領にて集金させていただきます。

1. 集金は2ヵ月分1,000円を単位とします。
2. 集金は奇数月の1~5日の間に前回の財務部員がお伺い致します。ただし6組は一柳貢氏が新しく財務担当になりました。
3. 本年1・2月分は総会のお次関係上2月1~5日に、3・4月分を3月1~5日に集金させていただきます。
4. 領収書は前回とはほぼ同じ様式のものをお預りし、各組担当の財務部員が記号押印したものをお受けとり下さい。

5/3/1

# 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

## ◎市原案発表に伴う緊急役員会

高速道路市原案が発表された 2/24 都様宅で次のことについて話し合った。昨年5月の素案が、我々の意向を全く無視する一方的なものであることを認め合った上での意見交換であった。

- ① 今回の市原案はこれまで 高架式 又は 半地下式 といわれていた「変更素案」が原案において 藤巻町通過 のかなりの部分で トンネル式 に変更されている点は、市側が我々の反対運動を無視してきたことを端的に物語るといってよいであろう。
- ② しかし反対運動の基本的な住民の福祉を守る点(騒音、排気ガス、振動による公害)について現在の新聞における発表では具体的な事実が何も明らかではない。しかも藤巻町3丁目 トンネル の出口が存在するという原案では全く承服できない。
- ③ 今後の状況調査及び市側の交渉を通じさらにもっと強い姿勢で推進する必要がある。

## ◎市議会建設環境部会長に陳情

早川委員長はじめ林田、南川副委員長、池田交渉部長、川崎、上野、鋤納、箱垣、都各委員は 2/24 午前林鏡治上記部会長(中村区選出社会党)に反対陳情をした。(上野委員の紹介) 建設環境部会は、林委員長を中心に各党委員で構成され、高速道路問題 に関する今回の原案について議会の意向を決め市長の諮問に答える。林氏は4月中旬ごろ答申料と説明、藤巻町の意向を各党などに反映したら……とアトに促していた。

## ◎名古屋弁護士会公害対策委員との懇談会

(2月16日夜、藤巻町都氏宅。弁護士会側=小栗副委員長他計4人、藤巻町側=早川委員長他計6人) 初めに、小栗副会長から「これまで南区要町その他で会合した。弁護士会としては、高速道路 公害に対処中間意見書を出した」などの話があった。ついで早川委員長から、藤巻町の反対運動について概要説明があり、質疑応答に入った。山田委員からは別項のように、現在の藤巻町の環境が極めて良好であることを具体的な数字をあげて述べた。

当方からの質問の中心は、高速道路 反対運動に対し弁護士側からどのような支援が期待できるかにあったが、弁護士会側にはなぐり手持ちの切り札がなくなっており、いちばん大事な住民の強い反対運動 そのものであることを強調され、われわれもよく意内得した。

最後に早川委員長から、謝辞とともに、今後折にふれて、御協力をとの要請があり、快く了承され、有益な懇談を終った。

(運動本部 山田)

## ◎現在の藤巻町の環境(主として騒音および大気清浄度について)

### ① 騒音

平日の昼間は平均38ホンと極めて静か(既報 藤巻だより No.3 参照のこと)

### ② 大気清浄度

#### ① 藤巻町へ移住してせんとくが治った 2例

(カ) H夫人(前住所瑞穂区堀田) (キ) S氏(男 67才 前住所東京都江戸川区) 次ページに続く

① NO<sub>2</sub>の第一回測定

昭和50.1.24午後5時から24時間、町内10ヶ所での結果は、0.000~0.008PPMと極めて少ない。

② NO<sub>2</sub>の第二回測定

昭和51.1.17、17時から5ヶ所で連続一週間にわたり24時間毎に測定、大部分は基準0.002PPM以下、但し信貴山下付近及び木植園の信号付近では基準を越えた日が統計8回あり、最高0.029PPM。  
(運動本部 山田)

◎公害現地見学会報告 (昭和51年2月22日)

雨天の中を参加者約20名が、マイクロバス、乗用車に分乗して見学しました。まず高針に建設の公団分譲住宅、これは環2沿いで将来の騒音を予測し、2重窓になっている所。ついで急ピッチで工事進行中の153号バスの現場から大高インターへ。巨大なコンクリートの橋脚と高架が交差するラングウェイの下は、名四国道を走る車の排気がスモとす黒くけむり、視界もきかす。一同暗たんとして言葉もありません。2時から是要町の市民大会に参加、会場の壁には反対運動を支援する人達の垂幕がずまなく、4年間のかはり強い闘いの跡を語り、松永様の「私達は何百回と諸願し陳情してきた。日に10万台の車が通る今のこの車公害を何とかしてくれ」といっていた言葉には苦しさも力強さもあるていました。藤巻町を代表して早川委員長も挨拶され生まれたばかりの私達の会にも支援の拍手が送られました。

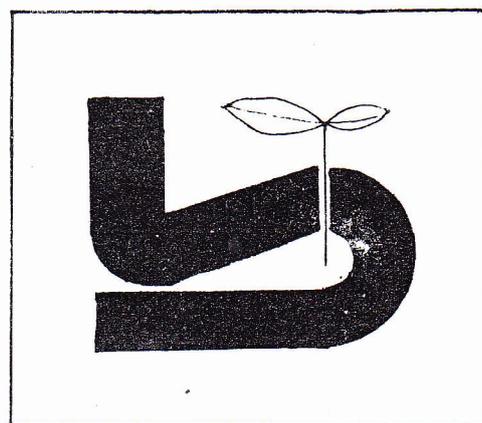
トシヤ降リの中5時30分解散、私達の運動も、車公害の現実を目で見、肌を感じる事が如何に大切かを思います。今後の催しには皆さんこそご参加しましょう。

(運動本部 南川)

◎第2回(3月~4月分)集金のお願!!

昭和51年度、第1回(1月~2月分会費)集金に際しましては、会員諸氏の御協力を心から御礼申し上げます。

前回の案内のとおり、第2回集金(3月~4月分会費)を来る3月10日~3月5日間に前回伺いました財務部員が参考致しますので、何卒よろしく御協力下さいませよう。お願い申し上げます。(財務部長 加藤)



# 高・速・道・路・反・対 No. 10

51.4.25

## 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

### 運動本部 ◎ 高速道路説明会について、まだ28日午後、名東区役所で。

高速道路変更原案に対する名東区役所の説明会は28日午後1時半から名東区役所で行われます。その際は、できるだけ多数の方が出席し、不明な点を十分に聞き取ってください。会中にも質問をぶつけて。藤巻町と当会では、さらに町単位のくわい説明会を持ち、市の担当者にも来てほしいという要望書を出しました。場所は西山水処理場で、期日は5月16日か23日の午後に希望しています。市から回答がありたいからご連絡いたします。この会にはぜひ全員が参加して、市当局と十分納得がいくまで話し合う用意をせねばならないと考えています。その際、できれば市長その他の市の幹部に、当町の静かな環境を視察していただくことを希望しています。

### ◎ 全町民の怒り結集 12日、市役所へ初の抗議行動

直接参加された多くの住民、あるいは新聞やご覧のみよさんのすてきに承諾のとおり、私共は12日、市議会、市当局に「藤巻町の意志」を伝える「全員行動」を行いました。この日、雨の中でしたが、子供連れのお母さん、ご年輩の町内有カどころ、ご天事おせらいの方、勤務先を欠勤された方など、それこそ、やむを得ない方を除く全員が市役所へ押しかけました。手に手に真新しい緑の会旗を持って、約100人が、整然と力強く「計画破棄」を訴えられました。伊神市議会議長はじめ建設環境部会の各党関係議員など、および市計画局の山田部長(局長も山田氏です)に対し、みよさん口々に「変更ルートが不当」「計画の無謀」「公害のこわさ」「環境破壊」「行政の矛盾」「弱者いじめ」「つんぼさじき」への怒りなどを訴えました。会からは別紙の要望書を提出されました。議員側の反応はまちまちで、市当局側も「説明会はやりたい。なるべく住民と意見交換をしたい。いまは市議会の委員会審議中。住民の望みとおりの説明会がやれるかどうか決まっています。地図が詳しいものは持っていない」と、あいまいな、役所的な答へに終始してました。私共の初めての全員行動の成果が、どんな形でも今後あらわれなくても即断はできませんが、「藤巻町は一味違、運動をしている。スマートでしっかりしている」との評価が聞かれます。とにかくこの日、私共の意志がはっきりと市議会、市当局にぶつけられたことは事実です。一党一派に偏らない、正々堂々たる、知識と行動力に満ちた「みよさんの運動」を根拠に続けたいです。

委員長  
自治会長 12日は雨の中をみよさん、本場に  
ご苦勞さまでした。多数のご参加  
を得て立派な抗議、要望の  
行動ができました。今後と力を会せてがんばり続けたい。

参加住民の声 Aさん：会員の団結と行動力が  
示され、大変おもしろいと思います。

Bさん：今後の市役所行きが直ちに効果をもたらすとは思わなかったが、意気表示はした。これから根拠をやること、第一歩だと考えています。  
Cさん：身元として計画中止を望んでいます。

Dさん：これからの市議会の審議や市当局のやり方に多少の影響はしてくれればいいと思っています。

Eさん：抗議行動の運営や、議員の態度、市役所側の答へなどに不満な点があるが、これからの大団圓を期して。

### お知らせ!!

◎ 東山の緑を守ろう運動 29日、動物園前歩道で”  
さる17日の役員会で決定し、準備万端整っています。  
“全員行動”の第2回目です。とくに今回は委員長以下運動本部、各部委員を中心に守りたい。ご都合のつく住民多数の参加  
を得て行いたいと思います。緑の会旗持参のこと。

▼ とき 4月29日(準備日は5月5日)午前10時~午後2時  
▼ ところ 東山動物園正面前 東山公用住宅前(徒歩)  
▼ 趣旨 会中使用したハカキに市民署名を求め、東山の  
緑を守るため、高速道路建設中止、を市長へ訴える。  
▼ 詳細 本部および各部役員へ承知しています。おたねも。  
先発組は(午前9時30分)広報、研究、財務、各部  
後発組は(午前11時)交渉、連絡、調査、各部  
雨天中止(午前9時決定)

### 【市議会と市の動き】

#### ◎要望は実りっつ……。でも安心はナシ!

高速道路問題を審議している市議会建設環境部会は13、14日の集中審議を終え、15日審議継続中ですが、神戸市の状況視察(わか会が先に調査)に出向くそうです。ぜひ詳しく研究し、市当局に多くの問題提起をしてほしいものです。これまでに①説明会は区単位のほか、各地域、団体相手にもやりたい②広報名古屋の号外を発行したい③2500分の1の詳しい地図を区役所に掲示したい④テレビの電波障害対策に共同アンテナを設置したい⑤住民との対話を深めたいなど、私達の要望にこたえる方向での発言が増えています。でも排ガス、騒音、振動をはじめ、いわゆる環境対策、公害対策ほど核心の問題については市当局の回答は充分出されておらず、アマイ、スサンの感深いものがあります。"いざ大事件の時、"という情勢はいせんとして続いています。問題が市および市議会からはほねり県へ原案として送られては大変。県から建設大臣のところへ提出されてはほねり大変。お役所の来年度の予算案づくりの日程(八月)から逆算すると審議の期間しう長くはないとも考えられますが、遠慮はいりません。さらに監視と強い要望を続けましよう。説明会では、知恵をいもうて、ことにあたりますよう。

#### ◎最近の会动向。(各委員、本部、町内各位の活躍ぶり)

4/5 市計画局へ市民懇談参加で要望。代表11人が山田計画局長に対し「新規に沿線住民に加えられては、藤巻町もメンバーに入れるべきだ」と強く折衝した。

4/6 早川委員長、市民懇へ出席。市民会議(わか会の加盟する市民連絡協議会の上部団体)の一員として、委員長が市民懇へ出席し「公害問題、納得の行く行政」ほど要望された。

4/10 住民"全員行動"に特別協力。12日は別項のように、住民の大部分が市役所へ抗議行動に参加されました。そのさい会提携のマクロバス(拓植さんのお世話)のほか、川崎さん、石坂部さん、加藤さん、山田さんが自家用車を提供され、大いに助かりました。

4/9~4/14 アンケート配布、回収。新事態を踏まえ、改めてアンケート調査しました。御協力深謝、結果は集計後ご報告します。

4/5~4/10 運動本部の会合。総会後の問題検討、周辺隣接住民との連帯、情勢分析などで再三会合。4/7 役員会(本部、各部長出席)反対看板設置、ほかき配布運動、説明会対策、近隣地域との連帯ほど協議。

**調査部** 先にご報告いたしました神戸オニ六甲山にネリニ軒茶屋換気所周辺は藤巻町の地形と大変よく似ております。排ガスが周辺をおおい谷間に年中漂い動植物等除々に食虫み弱い子供達を奇形にする恐れが多分にあるといわれる排気塔が神戸オニ六甲山にネリの場合には約1500台相当の能力ですが藤巻の場合は約60,000台(原案)とされています。しかも藤巻を囲みニ基の換気所が出来る予定で、大変なことになると思います。市広報版の厚に資料の一部が掲示されておりますので皆さん是非ご覧下さい!

**財務部** 日頃会費集金には御協力がいただきありがとうございます。運動の趣旨御理解へうえ、さらに一層の御協力をお願いします。次の集金は5月初めです。

**広報部** ①反対旗。緑は環境を守る茶色の若木と白い道路は私達のおたやかな根強い願望をあらわしたデザインで、(拓植さんのお骨折)13、14日、配布済み。私達の意志表示として掲示しよう。

②反対看板設置。縦180cm 横90cmの看板10枚が出来、市広報版ゆきに21日集中設置しました。約1ヶ月後町内に分散設置したいと思っておりますので、組長さんはじめ住民の皆さん御協力を是非ともお願いします。

# 高・速・道・路・反・対 藤巻だより

NO.11

51.4.26

静かな環境を守り、高速道路に反対する会

◎ 28日名東区役所で説明会。全員参加! 午後0時45分、反対看板前集合!

◎ ルートは2組-4組-8組の直下案。排気塔は新地南。

▼ **役員の内情に続こう!**

高速道路変更厚書に岡村市当局の説明会は、広報NO.10で報告したとおり、28日午後1時30分~4時30分、名東区役所で行われます。名東区が、全戸マップで、市当局は説明資料パンフレットを事前に配印したなど、私たちの運動に対して、並々ならぬ作戦、配慮をみせています。市当局の資料は、一見すると、それなりに理解されそうな書き方がしてありすが、よく読めば、私たちの疑問、不安、反対の根拠にこたえをでないことがはつきりしています。説明会では、大いに内いいただきましょう。そして、納得できずまで、説明会を南かせるよう要求し、がんばりたいと思います。区単位のおきせ説明会だけではダメです。会では、以下の内情を用意し、役員が交互に立ちます。皆さん、どうぞ!なお問題の通過ルートですが、最新情報では2組-4組-8組の地下が決定的。排気塔は新地の南20~30m付近のようです。

▼ **再度の説明会へ持ちこたえよう!**

## 負荷項目 (状況により、順序、内容の変更はあります。臨機応変が必要)

- ① 変更の理由、変更案の不備、経済性、公害対策の深さ など 総合的課題。
- ② 3条件8項目との関連、適合度、不適合度、各項目別。
- ③ 高速道路のメリト、デメリットなど。予算規模と市民税、神戸市の状況との関連。
- ④ 高速道路の性格について ④A 必要性 ④B 総合交通体系の中での位置づけ ④C 交通量の詳細
- ⑤ 周辺に及ぼす影響 ⑤A 藤巻町の地形地質とトンネル工事との関係 (深さ=断面図、地盤沈下・家屋の傾き、水脈の移動・水枯れ、騒音・振動など) ⑤B トンネル出入口と換気所に関する問題点 (位置、出入口周辺の騒音振動対策、同じ排気ガス対策、換気所の位置・構造・能力・影響、排気ガスの人体動植物・野鳥などに及ぼす影響 など) ⑤C 隣街
- ⑥ 工事中に起る諸問題および対策 ⑥A トンネル工事の期間 ⑥B 工法、土砂搬出法、使用道路など
- ⑦ 工事用トラックの安全対策・作業時間帯と制限 (とくに学童、婦人、各個人生活との関連) ⑦D 工事騒音・振動への対策 ⑦E トンネル2本の利害得失、理由。排気ガスの拡散計算式とは?
- ⑧ 工事後の対策その他 ⑧A 工事後の地盤沈下・家屋の傾き・地下水問題での補償と特別契約 ⑧B トンネル内事故 (火災、爆発等)での地上の家屋等の被害への補償と特別契約 ⑧C トンネル上の家屋の地上権 (断られた?)と補償 ⑧D 公園・風致地区、多1種住居専用地区内を高速道路が通るのは行政上の矛盾ではないか - 法律、条例との関連。緑の環境保全と都市高速道路について。
- ⑨ 環境アセスメント(事前調査)と、その不備 (名東区の場合)、バックグラウンドの実態と高速道路による環境増悪。
- ⑩ その他、いろいろあります。

◎ **各組長・広報部は出席者確認を!**

# 高・速・道・路・反・対 14

51.6.9

## 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

### 「高速道路 新ルート案(藤巻ルート) 留保でゴー」 反対運動さらに拡充の要!

すでにご承知のとおり、名古屋都市高速道路問題は、23/日、本学会建設環境部会が「1号線東部の四谷-高針間(藤巻町への変更案ルート)は留保」などの条件をつけて申し、県の原案送付となりました。この藤巻ルートは、私たちにとって、あらゆる意味、観点から納得できないものであり、「留保」は当然のこと、むしろ撤回されるべきものです。今回のことは、私たちの昨年からの、熱意ある町ぐるみの、反対運動の成果であり、関係各位のご努力のたまものでもあります。でも、これで安心するわけには参りません。留保、といっても、「環2の事業決定まで」という、一種の期限付きですし、わからないこと、政治・経済の情勢など、まだまだ問題は多いのが実情です。

ちなみに、環2は建設省の所管。細部の構造、事業主体、事業決定の見直しなど、はつきり、わかっています。名古屋側は「環2を早く」と、建設省に要望しているそうです。

問題は、今後、村村複雑化しそうな気配、そして、私たちをめぐる情勢も、変化し、浮沈しそうなようです。私たちは、アンケート結果にあるとおり、「案撤回」までがんばらねばなりません。

全住民の、これまでに以上の結果と勉強、調査が必要です。会としては、それぞれ、の使命を持つ各部が、さらに活発に活動し、隣接地などとの連帯をますます強め、運動を盛り上げたいと思います。

#### 次期役員会のお知らせ

- ◎13日(日)午後7時30分
- ◎小池さん宅(2丁目)

- ◎新事態の分析
- ◎今後の活動力
- ◎公園復旧地内問題
- ◎住民総会検討

- ◎各部長は必ずご集合ください
- ◎園本沢助教教授講義(予定)

#### 広報部からのお知らせ

- ◎近く「声」の箱設置 (反対看板置き広報板に)
- ◎反対立看板分散配置 (各組単位ぐらゐに分散)
- ◎各新聞切り抜き掲示 (鏡意検討中)

#### 【藤巻町説明会】 鏡、負向 ↔ 当局あやむ

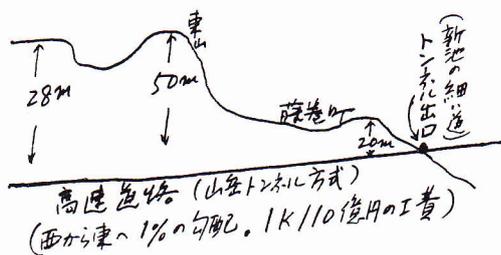
換気所保留  
汚染解決策なし  
東山公園内は大切

やや色あせた感はありますが、5月29日祝の藤巻町説明会の模様を記す。(詳細は広報部にメモ、録音が保存してあります)。お知、阪本、本谷各年銭あり。市から山田計画局長、小野田参事、伊藤主幹らが出席。住民は約150人。早川製鉄会。

#### 市答弁説明の主な点

私の目黒いちは、藤巻町に高速道路は通させない(親市銭)

- ①会からの公園復旧状況には10日前後に正式、文書 回答す。
- ②換気所問題は保留。風洞実験データ出し改めて説明したい。(計画の保留)
- ③具体的事前調査はしていない。環境調査は。予測データのみ。CO<sub>2</sub>10k、NOx180k。
- ④大気汚染…バックグラウンドは不向。単純データ提出。野外実験は無理。
- ⑤東山公園の重要性は認識している。
- ⑥その他、従来の語り直し、抽象論ばかり。資料出す、説明もあまい。



説明会では、委員の方々の周到なご配慮、先生方の秀れたお知識に感服、皆様の声に心から同調した。環境汚染、自然破壊へと強行する当局に腹が立つ。自覚を持って、やめることからはじめて行こう。女性も大声で反対を!

(2丁目、A女)

# 高・速・道・路・反・対 No. 15

51.7.7

## 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

### “留保”の不安 18日に総会(下水処理場)

岡本名大助教授講演も予定  
各政党代表の見解表明

名古屋都市高速道路に因り新事態については、皆様、一応ご承知のとおりです。ただ、(留保)都市部の“留保”とはどういふことなのか。“復活”が、いずれかの時期にあり得るのではないか。そうした前例もあるではないか。私たちの“静かな環境”“緑と鳥と共にある生活”“市民の第一歩”はどうなる——こうしたことを皆様と一緒に考え、新事態に即した運動をどう展開して目的達成に結びつけるか、**「総会」を開きたい**と思います。決して安心できる状態ではありませぬ。むしろ、不安のつのる段階ですので、皆様こそご出席ください。

### 【総会ご案内】

- 日時... 7月18日 午後1時30分～4時30分
- 場所... 西山下水処理場合設室
- 内容... ① 幹事報告説明ほか各種報告(本部)  
② 岡本名大助教授の高速道路公案のお話(予定)  
③ 各政党代表の態度、姿勢の表明(予定)  
——とくに“留保”をめぐって——

昭和51年度予算実行報告(51.1~51.6)

	予算	実行額	残高
会費 { 通常 その他	762,000	364,000	398,000
諸収入 (雑収入)	0	3,000	△ 3,000
繰越金	2,800	771	2,029
	166,368	—	166,368 (B)
収入合計	931,168	367,771	563,397
調査費	66,000	7,280	58,720
研究費	120,000	25,730	94,270
資料費	95,000	42,767	52,233
参加費	60,000	24,578	35,422
友好団体費	36,000	24,000	12,000
PR費	60,000	84,220	△ 24,220
通信費	105,000	33,240	71,760
器具費	50,000	71,360	△ 21,360
送迎費	60,000	56,278	3,722
交遊費	133,000	50,170	82,830
事務費	50,000	8,855	41,145
会場費	9,000	4,070	4,930
雑費	72,000	13,000	59,000
準備費	15,168	0	15,168
支出合計	931,168	445,548	485,620
差引	± 超	△ 77,777	— (B)

### 【公開質問状のてんまつ】

詳しくは、総会の席上、本部委員からご説明いたします。私たちの29項目にのりて公開質問(新聞紙上でも紹介された)に、市長は6月12日回答を寄せておきます。

### 【各部 お知らせ・連絡】

- 財務... 7.8月分会費集めを行ってあります。ご協力に感謝いたします。(財務報告は別表ご参照)
- 広報... “声の箱”を広報板(2丁目・東山公園緑地対策看板わき)に設置しました。ご利用を。反対看板の一部分散設置を始めました。ご協力を。

51年6月30日現在、巻地相違金残高(A+B) 88,591 [東急銀行]

# 高・速・道・路・反・対 No. 17

51.9.1

## 藤巻 だより

静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

お知らせ

研究部... 風見風船の計画は、当初予想でなかった難点のため遅れていますが、速からず実施します。よろしくご協力を!

財務部... 9/10月分会費集めの時期です。一層のご協力を! いつまで、ありがとうございます!

広報部... 声投稿、いづれも歓迎!

### 役員改選! 今度はあなたも!

私たちの高速道路反対運動は二年目を迎え、役員改選期にさしかかりました。藤巻町に盤しかかった計画変更案も、トンネル案を経て留保へと、大きくカーブし、復活の杓子をねらっている形です。皆さんがこの一年間に示された力と熱意を、二年目には、さらに新しい知恵とエネルギーと体制で引き継ぎ、盛り上げ、高速道路という言葉や、藤巻町という名前や、自動車公害という悪徳が、私たちの周辺で消えなくなるまで、この運動を推進しようではありませんか。

役員は、充足当初、一年交代を原則に、それぞれの仕事、私事をかなり犠牲にしたり、あるいは余力以上の力をぶつけたりして、がんばってまいりました。今度は、新役員登場の番。そして、みなでこの運動をやりとげるのです。お互いに、力を出し合いましょ。

一年目、委員でなかった方は、二年目、なんらかの委員(交渉連絡、広報、研究調査、財務の六部のうち一つ)に就任をお願いいたします。近く、広報委員が各戸をご訪問しますので、右の用紙にご記入ください。

また、一年目、委員であった方で、引き続き委員をお引き受けくださる方は、経験された部、あるいは未経験の部のいずれでも結構ですので、よろしくお願ひいたします(この件は、各部のお集まりのさい、部長からご相談がめざすです。全員交代が原則ですが、一部の方に再任していただかないと、総数で不足をみますので...)。ご苦勞さまで。

委員長、副委員長については、自治会長、副会長兼任(既定)を別として、鏡意、考慮中ですが、皆さんのお知恵、ご協力を得て、スムーズな引き継ぎができれば、いたしたく思います。10月には「総会」も計画されます。

### 公聴会で早川先生が反対公述

賛成少数 弱い理由

名古屋都市高速道路の計画変更に関し、県の公聴会は、8月31日、行われ、当会からは早川委員長が公述人として出席されました。おらん建設反対、計画変更反対の公述と、①情勢の変化 ②内外の失例 ③現在でも大気汚染はひどい ④総合交通体系の樹立と公共交通機関の整備 — などを理由に「つくべきでない、おね論破」されました。各反対公述が賛成公述を上回り、市民の認識の度合もわかりました(各紙報道)が、賛成者の意見は、無知、時代錯誤、私欲に満ちたナンセンスなものばかりでした。県國へ、さらに働きかけが必要。

### 各部署委員就任、希望調査用紙

ご希望部	部
ご氏名	
電話	
ご職業	
組名	組
ご意見 (おりましたら ご記入)	

(とり取り)

### 請願書近く提出 名大連名で!

当会では、すでに皆さんに配布しました反対請願書を、県、市、公社はじめ、建設省、環境庁など関係機関および国会関係に、近く提出します。「鏡ヶ池文教地区を守り会」「名大職組高速道路対策会」など、計画沿線の隣組もご一緒です。だんだん、輪が広がり、仲間も増えます。請願書の内容は、名古屋に都市高速をつくるは、特に名大、東山公園、静かな環境と緑地に高速道路をつくるは — というもので、皆さんご承知の理由が列記されています。

名古屋大学の反対運動開始は大きな朗報です。

あれこれ

自陣陣営で「鏡ヶ池」神戸方面の人たちは、このほど、高速道路反対の訴訟に踏み切った。  
 ・一宮の名神高速道路で追突された乗用車の四人が死亡(トヨタ火災や高速道路事故が起きたら...。おらん、排気が騒音もイヤだ)。  
 ・要町で名古屋都市高速2号線の測量開始。この地区の人たちは、高速道路内題もさることながら、現実の名四国道に「排気、振動、騒音」で、すでに「生活不能」にまで追い込まれている。要町は名四に殺された!

# 高・速・道・路・反・対 No. 18

## 藤巻 だより

51.10.1  
静かな環境を守り  
高速道路に反対する会

### さあ2年目！ 〈一層の結束、自主性を〉

私たちの会が発足してから、早くも一年が過ぎました。主な経過は別表のとおりです。早川委員長以下、全住民の皆さんが、知恵と力と共通の認識とをぶつけ合ってきた道程と成果が、別表なのです。

昨年10月、会が誕生して以来、私たちは、① 全員の協力と民主的運営 ② 確固たる組織と強力な運動の展開 ③ 不偏不党と独特新味ある活動 ④ 自治会との連帯 ⑤ 委員長以下各役員の一交代（ただし重任は妨げないが、全住民がなるべく役員に就くのが趣旨）——などを合言葉に（才回総会で拍手、確認）、今日までがんばってきました。これらのことは、やがて開かれる一周年総会で再確認され、よりよい運動へと進むものと思われませんが、いずれにせよ、この反対運動は、長期にわたるうえ、知恵と力のぶつけ合い、換言すれば住民それぞれの意志表示の問題でもあるわけですので、私たちは自分自身の重大事との認識に立って、今後に対処しなければいけないと考えます。健康と生活を自ら守りましょ。皆さん、「ただいま留保」に満足せず、決意を新たに2年目に臨むうてはありませんか。（本都広報）

### 1/3 逆転層調査始まる 〈研究部が年間通して〉

研究部懸案の風見風船始揚げ（逆転層調査）が、10月3日午前、緑橋、曙橋、新池の三カ所で約20人の参加者により行われました。各新聞報道のとおりで、研究部としては、皆さんのご協力を得て、今後、ねばり強く調査を続けねばならぬ問題です。かつて、ベルギー、アメリカなどの藤巻町によく似た地形のところで、逆転層現象のため、<sup>排気</sup>人間や畜畜に大きな被害が出たことは皆さんご承知のとおり（山田氏説明、広報記載）。排気スはやっぱりこわいですね。大気汚染反対！ 科学的データ収集を！

### 建設県、市も知恵をしぼってます 〈最近の情勢〉

仲谷愛知縣知事が、名古屋市の車の乗り入れ規制を発言したり、このことは高速道路建設と矛盾ないといったりしています。名古屋市は、これ知事の発言と秀調を合わせるように、前の計局局長は高速道路公社へ送り込んだり、車公害対策について審議会に諮問したり（明申に答申を待つ予定）、この問題での連絡協議会（谷助役が会長）を発足させたりしています。建設促進側も、あれこれ知恵をしぼり、金を使い、ことを正当化しようとしていっているわけですね。そういうのは、高速道路建設に固執建設省の明年度予算案も決りつつあります。名古屋は150億円前後でいじらうか。ただし、「環境」の方は、はかばかしくないとか。（77よかつた、なほいわなひて……）

### お知らせ (各部の原稿提出を待つ)

- ◎ 財務部... 7号の会費集金は11月上旬です。
- ◎ 広報部... 声の投稿を！ 「子供」の作文集め、具体的に検討いたします。
- ◎ 運動本部... 18号を「総会案内特集号」（内容：の新人専、決着案などを紹介）とする予定でしたが、総会準備の都合で、次号にいたします。
- ◎ 研究部... 風見風船に今後ともご協力を。

### 私たちの会この一年 (50年5月、市の変更案発表)

- 年月
- 50.6 ◎ 藤巻町住民大会（自治会長招集）
    - ◎ 高速道路反対の準備委員会発足（総会長指名15人）
    - ◎ 市市議会へ請願・陳情（住民反対署名添付）
  - 7 ◎ 住民のアンケート調査（90%以上が反対と判明）
    - ◎ 準備委員会続く（6～9月に計8回討議）
  - 10 ◎ 「静かな環境を行き高速道路に反対社会」発足
    - ◎ 早川委員長はじめ代表一行が市当局へ抗議
  - 11 ◎ 反対の大看板立つ（二丁目園田さんが場所提供協力）
  - 12 ◎ 「藤巻だより」No.1 発行（10月に臨時1回発行あり）
    - ◎ 藤巻町の環境調査（騒音、大気汚染）
  - 51.1 ◎ 才2回総会（水野名大名誉教授講演、予算案決定）
    - 2 ◎ 要町はじめ問題地の現地視察
      - ◎ 会代表が名古屋弁護士会公害対策委員会代表と懇談
      - ◎ 市当局、1号線東部のトンネル案発表
      - ◎ 会代表、名古屋市議会へ陳情
    - 3 ◎ 神戸市の高速道路諸問題と現地視察調査
    - 4 ◎ 状況緊迫で1臨時総会
      - ◎ 藤巻町全住民が市市議会へ抗議行動を決定
      - ◎ 緑の会旗各戸配布提示、反対中看板設置
      - ◎ 全住民20歳以上アンケート調査（反対不変を確認）
      - ◎ 名東区説明会（全年の77、市計局による）
    - 5 ◎ 東山の緑を守り署名運動（新池園前、署名が急増）
      - ◎ 本山市長に公開傾向状提出（29項目）
      - ◎ 藤巻町説明会（山田計局局長の答弁10/10、積極的）
    - 6 ◎ 市が1号線東部の計画を留保し、全社と保送付
      - ◎ 公開傾向状への市長回答届く（内容に役所的注文）
    - 7 ◎ 才3回総会（各代表議員に態度固く、風見風船講演）
    - 8 ◎ 県が公聴会開催（副委員長、反対意見を公述）
    - 9 ◎ 役員改選でアンケート。各部新役員選出急ぐ
      - ◎ 名大と含士隣接団体の共同請願を関係先へ提出

**声** 子供たちの作文を集めて広報にのせるなどしたらいかがでしょうか。（?）

- あれこれ**
- ◎ 東京都は高速道路利用税新設の方針。（公害と税金のダブルパンチですか）
  - ◎ 米国サンノゼ市で高速道路建設、中途バストップ。（どの国も同じですか）
  - ◎ 名古屋の治水に8000億円が1必要と市当局言明。（高速道路建設費を回したらどう）
  - ◎ 川崎市で環境70セメント（事前調査）条例可決。（なにかりましか）